

教員 対象

令和3年度後期研究支援員制度が11名でスタート ～ワークライフバランスの充実のために～

一橋大学では、出産・育児・介護等により十分な研究時間を確保できない研究者等を支援するため『研究支援員』を配置する制度を実施しています。平成26年度に開始され今年で8年目を迎えました。令和3年度は前期6名、後期11名の利用が審議により決定しました。利用者は研究内容に合った研究支援員候補者を自身で選出し、勤務日時を相談により決めることができます(利用上限時間あり)。研究支援員制度の次回募集は、令和4年2月頃(予定)です。



利用された先生方から

氏名あいうえお順掲載

社会学研究科 井頭 昌彦 教授

科学研究に関するサーベイ作業のサポート、具体的にはサーベイ報告および関連論文レジュメの作成をお願いした。複数のプロジェクトを推進している中で研究時間の割り振りが難しくなっているが、研究支援員のサポートのおかげで科学研究についてある程度の進捗をみることができており、論文などの成果の形にまとめる準備が整いつつある。

経済研究所 臼井 恵美子 教授

研究支援員からは、基礎資料収集や制度調査、報告資料作りなど、研究推進に不可欠な支援を得た。子育てに追われる中、研究補助の仕事を大学院生にお願いできたので、家族との時間を持つことができました。

国際教育交流センター 太田 陽子 教授

研究支援員の協力により整えたデータにもとづいて、2件の新規科研の応募につなげることができた。今年度は、さまざまな業務が増えたり、突発的な案件が起きたりしているが、細々とした業務をいつでも代行してもらえる安心感が精神的な安定につながっていると感じる。

経営管理研究科 小野 浩 教授

研究支援員のおかげで、より付加価値の高い研究活動に専念することができました。このような素晴らしい制度が一橋大学にあることに深く感謝いたします。子育て・介護など、仕事以外の面でも多忙な毎日ですが、大学側が理解を示してくれること、支援してくれることには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

社会学研究科 中北 浩爾 教授

資料のコピーやデータの作成、資料の整理などを手伝っていただきました。丁寧に作業をしてくださり、とても助かりました。研究支援員のおかげで、執筆に専念することができました。子育て中であり、その制約を考えると研究支援なしにはスピード感をもって研究を進めることができません。ワークライフバランス上、大変ありがたかった。

経済学研究科 原 泰史 特任講師

研究を進めるために、データ処理と分析を役割分担しつつ共同で行いました。ライフステージにおいて乳幼児を育てる最中でも、本制度により研究を支援して頂けたことは大変助かりました。

教職員 対象

内閣府ベビーシッター派遣事業 割引券使用可能枚数が1日2枚(4,400円相当)になりました



内閣府ベビーシッター派遣事業では、育児と仕事の両立を支援するために、ベビーシッター派遣事業割引券(2,200円/枚)を発行しています。本学教職員が乳幼児または小学校3年生までの児童(その他健全育成上の世話を必要とする小学校6年生までの児童)にベビーシッターを利用する場合、対象児童1人につき1日(回)2枚、1家庭につき1か月に24枚、1年間に280枚※まで利用可能となりました。ベビーシッター派遣事業割引券の利用には、学内登録が必要となります。事前登録も承りますので、いざという時の準備としてお気軽に男女共同参画推進室にお問い合わせください。

※年間利用枚数は利用状況により学内で調整することがあります。

教職員 対象

令和4年度根岸病院事業所内保育所(ねぎし保育園) 利用者募集を開始しました

国立キャンパスの近隣にある根岸病院の事業所内保育所であるねぎし保育園と本学において、子どもを優先的に預け入れることのできる教職員枠を設ける協定を締結し、平成29年4月よりねぎし保育園の利用を開始しました。令和2年度には利用対象者が変更され、常勤・非常勤問わず、所定の勤務時間等の条件を満たす教職員は利用することができます。令和4年4月以降入園の申込を右記の通り受け付けますので、入園を希望される方は男女共同参画推進室まで申請書類を提出してください。

1. 募集人数

計7名 (0歳児1名、1歳児3名、2歳児3名)

2. 利用対象者

一橋大学に在職する週当たりの所定勤務時間が38時間45分の教職員であって、かつ、配偶者が就労・就学中である等、市区町村に「保育の必要性」が認定される見込みの者。

3. 申込期間

令和3年11月1日～11月30日 (令和4年4月～5月入園)
※令和4年6月以降の入園は、定員に空きがある場合又は空きが生じた場合に募集を行う。



[学内詳細はこちら](#) 【HWP】文書管理 > 10教職員共通 > 10申請書・様式 > 225男女共同参画推進室 > ねぎし保育園利用関係

学生 対象

学生対象一時保育等の利用料補助制度を活用ください

一橋大学では平成28年6月より、学生の出産・子育てと学業の両立を支援するため、学修・研究時間または学会参加時等に一時保育・ベビーシッター等を利用する費用の一部を補助しています。一回あたりの補助金額2,200円、年間補助上限額は55,000円です。利用者からは「夜間のゼミにすべて出席できたのは育児支援基金のおかげです。」「妊娠・出産期を乗り越え、研究者としてキャリアの一步を踏み出すことができました。」等の制度に対する感謝の言葉をいただいています。皆様の研究のサポートにぜひお役立てください。

※本支援は公益財団法人一橋大学後援会「育児支援基金」を財源にしています。

男女共同参画推進室 ライブラリー



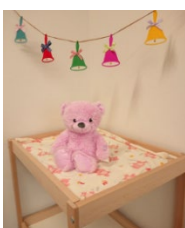
男女共同参画推進室ライブラリーでは、主に男女共同参画に関する図書を約700冊有しています。本学の教職員・学生であればどなたでもご利用可能です。ぜひお気軽にご利用ください！

- 貸出冊数： 3冊以内
- 貸出期間： 30日以内



ベビー休憩室

男女共同参画推進室では、おむつ交換台、授乳室、ベビーチェア、ポット(70℃設定可)、冷蔵庫、電子レンジ、クッションマット、絵本などをご用意し育児中の皆様の支援を行っています。研究と育児の両立にぜひお役立て下さい。



お申込み・お問合せ：



一橋大学 男女共同参画推進室

Tel: 042-580-8730

Mail: gen-fr.g@ad.hit-u.ac.jp

<http://www.sankaku.ad.hit-u.ac.jp/>

国立西キャンパス 第2研究館 7階 710号室
開室時間 平日9:30～16:30